

# MEMURO Q&A

## 芽室町Q&A



冬の暮らしについて

### Q1 冬に気を付けた方がいいことを教えてください

A1 雪の量は道内では比較的少なめですが、朝晩は道路が凍結するので注意が必要です。特に、ブラックアイスバーンや降り積もった雪の下が凍結しているなど、見た目では凍結に気づかない場合がありますので、歩く際は足の裏全体を使って小幅でゆっくり、車の運転は急発進・急ブレーキをしないようにしましょう。

### Q3 冬の光熱費はどのくらいかかりますか?

A3 部屋の数や暖房・給湯機器の仕様により、大きく異なります。電気・ガス・灯油の合計額は、一人暮らしで月約1~2万円、夫婦と子ども1人または2人の家庭で月約3~5万円です。ガスの供給がプロパンのみのため、ガスを多く使う家庭は光熱費が高くなる傾向にあります。なお、夏は冷房を使う機会がほとんどないため、年間で比較すると、都会と大きく変わりません。

### Q5 雪かきは毎日するのですか?

A5 冬も晴れの日が多いため、しっかりととした除雪が必要になるのは年に数回程度です。ほとんどの日は、雪を軽く払う程度で済みます。また、10cm以上の積雪時は、除雪車が公道の雪かきを行ふため、通行で苦労することもありありません。

### Q6 雪かきに必要な道具は?

A6 家の周りはスノーダンプやスコップ、中には小型の除雪機を使うお宅もあります。車に積もった雪はスノーブラシを使います。外出先でも除雪できるように、スノープラシや小型のスコップは車に積んだままにしておきます。

### Q7 冬の暮らしに必要なものは?

A7 滑りにくく、防水・防寒性に優れた冬靴(スノーブーツ)、マイカーをお持ちの方はスタッドレスタイヤ(10月下旬~11月初旬に交換します)や冬用ワイパー、凍ったフロントガラスを溶かす氷解スプレーなどが必要です。

### Q2 冬の寒さが心配です

A2 もっとも冷え込む1月~2月は、最低気温が-15度を下回る日があるので、しっかりとした防寒対策が必要です。とはいえ、北海道の住宅は断熱性に優れているうえパワフルな暖房器具も設置されているので、室内は暖かく過ごすことができます。



交通事情について

### Q8 どんな交通機関がありますか?

A8 JR(特急が停まります)、民間バス、市街地を循環するコミュニティバスがあります。



### Q9 マイカーは必要ですか?

A9 市街地は車がなくても生活できますが、JRやバスの本数が多くないため、行動範囲を広げたい場合は、マイカーがあった方が断然便利です。

住まい・仕事・地域について

### Q10 通信環境は整っていますか?

A10 市街地は光回線が通っています。農村部に光回線が通るのは2022年頃の予定で、現在はADSL回線のみとなっています。

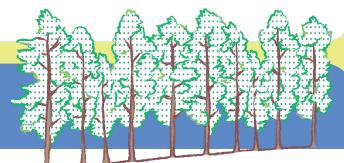
### Q11 農業をやってみたいです

A11 農業未経験者のための研修制度はありますが、空いている農地がないため、新規就農は困難なのが実情です。詳しくは町役場農林課(TEL 0155-62-9725/平日8:45~17:30)へお問合せください。なお、農業法人への就職であれば求人が出ることがありますので、19ページの芽室町ハローワークにお問合せください。



### Q12 地域にじめるか不安です

A12 町民は活動的でおおらかな人が多く、適度な距離感で付き合えます。また、道内外からの移住者も多いため、移住者が来ることにも慣れています。農村部は、市街地と比べて助け合う機会が多いこともあり、人づきあいが密になる傾向があります。



移住相談について

### Q13 効率よく現地を巡れますか? またお試し住宅はありますか?

A13 完全オーダーメイド型のプライベートツアーを行っております。訪れた施設などを事前にお伺いし、1日または1泊2日で町内をご案内いたします。なお、とかち帯広空港または帯広駅、芽室駅までの交通費や宿泊費、食費などは自己負担となりますのでご了承ください。またお試し住宅はありませんので、町内または近隣市町村の宿泊施設をご利用ください。

### Q14 先輩移住者のお話を聞ける場はありますか?

A14 芽室町内で先輩移住者と話ができる場をセッティングいたします。

移住相談は芽室町役場企画財政課が窓口になります。  
電話(TEL 0155-62-9721)のほか  
メール、オンラインでのご相談も承ります  
(要事前予約)。